

第630回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cラジオスペシャル

お父さん元気ですか～私はそれでも生きていきます～

平成30年5月24日（木）

(株) I B C 岩手放送

第630回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年5月24日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 龍澤 尚孝 宮 順子

澤口 たまみ 畠山 俊彰

村井 康典 小松 務

岩田 圭司

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

眞下 卓也 編成局長

熊谷 充代 ラジオ放送部長

照井 達也 ラジオ放送部ディレクター

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 IBCラジオスペシャル

お父さん元気ですか～私はそれでも生きていきます～

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ラジオでここまで表現できることに素直に驚いた。番組の内容にも感動した。東日本大震災の被災地の少女が小学校卒業の時に書いた作文から始まり、最後に大学進学時の作文を朗読し、ふるさとから旅立つという構成がとても良かった。亡くなったお父さんへの思いが深く表現されていたと思う。物悲しいけれども明るい未来を想像できる、被災地の春を切り取ってきたような素晴らしい番組だった。
- 最初と最後の作文のところだけが強く心に残った。そのほかはあまり印象に残らなかった。映像がないことによってわからないことをナレーションで補う、あるいはナレーションの調子や文体などで登場する人たちの雰囲気や持ち味をより効果的に表現する、そういう努力があれば良かったと思う。
- 先生と2人の女の子の3人で話した言葉が鮮明に聴こえてこない。その辺がちょっとイライラした。この部分をもう少しわかるようにしたら良かった。
- 改めてラジオの良さを感じた。作文を聴いてそれぞれの状況を思い浮かべ、それぞれの想いがあるんだろうと思った。映像があると一方的な関係になるのかなと思う。震災、避難所生活、父の死と、小学生がこんな作文を書けるのかと驚いた。そして高校卒業時の作文では「強さともろさ、支え合って強くなれる」という。成長したんだなと思った。
- (インタビューを受けるとき) テレビだとすごく構えてしまって、話が半分くらいしかできないことがある。ラジオだから、友達、お母さんの本音みたいなのが聞き出せたのかと感じた。